

**問1.** 福島大神宮例大祭のブランド化と「ちょこっと暮らし」を組み合わせるといいう考えのきつかけは？

福島町の行事をまとめる際に、お盆の帰省時期が最も人が集まる時期だと考え、8月中旬から9月上旬までに行われるイカ祭り・相撲合宿・福島大神宮例大祭を取り上げることとしました。

8月中旬から下旬までは、海水浴や登山等が体験でき、9月上旬から中旬までは青の洞窟クルーズや農作業体験、そして福島大神宮例大祭での踊りをモニター体験していただければ、ちょこっと暮らしや永住につながるのではないかと思ひ、調査することになりました。

**問2.** 調べるにあたって難しかった点などはありましたか？

調べることに関しては、特に無かったと思います。ですが、就職活動の時期でもありませんので、就職活動しながら調べることが一番大変でした。

また、昨年先輩たちが提案した、既存の施設を活用した「ホテル観賞会」やかまくらを設営し、ちゃんこ鍋を提供するという政策を参考にすることと併せて、自分たちでも新しいことを考えたかったので、プレッシャーはかなり感じました。

**問3.** 町民の皆さんに知ってもらいたいことなどがあれば！

今回、観光や人口のことを調べていった中で、福島町は全国消滅可能性自治体で9位となっていたことに驚きました。

また、皆さんご存知のとおり福島大神宮例大祭の歴史は長く、保存会もあって格式も高いものなので、町内外問わずたくさんの方に知ってもらいたいです。

最後に、学習成果発表会では他の班が発表したお菓子などももっと知ってもらいたいです。

資料1

## 全国消滅可能性自治体

# 9位 福島町

国立社会保障・人口問題研究所より

▲▼課題研究ふるさと班が作成した資料

まとめ

### いま私たちができること、為すべきこと

- ☆ 福島大神宮の歴史を再調査し、ブランド化する方策を考える  
→ 動画配信・SNS    
- ☆ ちょこっと移住のモニターを募集する  
→ 対象者(労働・教育型 夏休み中の子ども・教育関係者・就業者)  
→ 対象者(リゾート型 外国人・富裕層)
- ☆ 町や賛同者を募り、私たちの提案のアドバイスをいただく

**口コミ=お客様が宣伝してくれる  
無料で最大効果の広報活動**



▲発表する梅澤萌さん